



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
 [郵便番号] 〒110-0008
 [住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
 [電話番号] 03-5815-4161
 [FAX] 03-5815-4162
 [ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>
 [電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 内ヶ谷ダム堤体初打設R3. 9. 22
～岐阜県～
- 2 「ダム管理をわかりやすく伝えるための勉強会」を実施しました！
- 3 Dam news 投稿記事募集
- 4 「ダム技術10月」の目次
- 5 令和3年度 ダム工学会
「研究発表会・特別講演会・講習会」の案内
- 6 「ダム用PSアンカー設計施工マニュアル講習会」の案内
- 7 図書販売



内ヶ谷ダム完成予想図

内ヶ谷ダム堤体初打設 R3.9.22 ～ 岐阜県 ～

岐阜県が木曽川水系長良川支川亀尾島川（郡上市大和町内ヶ谷地内）に建設を進めている内ヶ谷ダムにおいて、令和3年9月22日に堤体初打設式を行いました。

内ヶ谷ダムの目的は、長良川の洪水調節と亀尾島川の流水の正常な機能の維持、河川維持用水を活用した従属発電（共同事業者：中部電力株式会社）です。堤高84.2m、堤頂長261.5m、堤体積約33万m³の重力式コンクリートダムで、拡張レア工法により打設を行っています。

内ヶ谷ダムでは、平成28年3月に本体工事を契約し工事を進めていたところ、平成29年9月、右岸基礎掘削実施中に、基礎岩盤の一部に事前の調査で判明していなかった開口割れ目を確認され、土木研究所や学識経験者等の専門家との協議の中で、開口割れ目より下流の岩盤は、ダムを支える岩盤としては不適と判断し、岩盤をコンクリートで置き換える「造成岩盤」を構築することとしました。

この造成岩盤部の初打設式を令和2年3月25日に行い、約1年半後の令和3年9月22日に、堤体の初打設式（実質2回目）を執り行ったことで、他には例のないダムになったこと、ようやく堤体の打設が実施出来たことに、現場関係者一同「感無量の思い」であります。

今後は、来年度に予定する定礎式に向けて、安全第一で工事を進めていきます。

（岐阜県 長良川上流河川開発工事事務所）

▲工事関係者による万歳三唱

▲カラーコーンによる祝い文字

▲造成岩盤部の打設状況(R3.10.5)
-ダム下流右岸-

▲造成岩盤部の初打設(R2.3.25)

岐阜県職員による記念写真

内ヶ谷ダム堤体初打設 記念枡



～ 記念枡に関するトピックス ～

内ヶ谷ダム本体工事共同企業体の構成員であるTSUCHIYA株式会社の本社は、岐阜県大垣市にあります。大垣市は、「木枡」の生産において、全国の8割を占める日本一の産地です。

枡づくりは、かつて木曽ヒノキの一大集積地だった名古屋で盛んに行われていました。ところが、明治の中頃、職人の一人が奉公を終えて大垣に戻ったことから、大垣でも枡が作られるようになりました。そして、大垣の枡づくりは、太平洋戦争で街が焼け野原となった後もたくましく復興し、次第に盛んになっていった歴史があります。

記念枡の製作をお願いした大橋量器さんは、岐阜県産のひのき材を活用しつつ枡を製作されており、最近では、枡の伝統技術とデザイナーのコラボレーションにより、現代の生活に合う、デザイン性の高い製品を作られているそうです。

記念枡の製作会社：大橋量器 <http://www.masukoubou.jp/>

「ダム管理をわかりやすく

Web会議
形式

伝えるための勉強会」を実施しました！

岩木川ダム統合管理事務所では令和3年9月8日(水)、テレビ報道機関4社の関係者と「ダム管理をわかりやすく伝えるための勉強会」(Web会議形式)を実施しました。

約1時間半にわたる勉強会では、令和3年の洪水・渇水の記録、用語の解説とダムの運用等の説明、防災・減災の取組の紹介や、わかりやすいダム映像についての意見交換等を行いました。

特にダム映像の意見交換の場では、「浅瀬石川ダム」と「津軽ダム」のCCTV映像配信のアングルと表示する文字情報案を決定しました。この案を基に9月10日(金)からテレビ報道機関各社あてに試験配信(映像のみ)を行い、10月12日(火)より本格運用(テロップあり映像配信)を開始しました。

報道機関各社では今回の勉強会の内容を「収録」するなどにより、今後の社内教育(ダムについて学ぶ機会)等に幅広く活用していただけることになりました。また、当事務所と報道機関各社との勉強会については、今後も継続的に実施していくことをお互いに確認しました。

(国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所)



▲当日の資料の一部



▲Web会議形式による勉強会の様子



▲10月12日より本格運用した、浅瀬石川ダム(右岸上流)のCCTV映像配信の様子



▲左記に同じく本格運用した津軽ダム(左岸上流)のCCTV映像配信の様子



Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
[担当者] 企画部 ダムニュース担当
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

OCTOBER
2021

ダム技術

No. 421

目次

巻頭言 日本を再び元気にしよう

公益社団法人日本河川協会 会長 松田 芳夫

講座 流水の減勢（5） 堤趾導流部を有するダムにおける減勢（2）

一般財団法人ダム技術センター顧問 高須 修二

技術研究 働き方改革に対応したダム打設工期に関する研究

一般財団法人ダム技術センター研究第1部長 川崎 秀明

既設ダムを活用した事前放流に関する検討

一般財団法人ダム技術センター首席研究員 長田 仁

〃 研究第一部長 川崎 秀明

〃 三好 達士

現場報告 水理模型実験による足羽川ダム本体の水理設計

(前)国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 工務課長 伊藤 大司

(前) 〃 工事課係長 堀川 裕太

〃 工事課長 小高 茂治

〃 事務所長 櫻井 寿之

文献紹介

ダムニュース

編集事務局から

令和3年11月1日
一般社団法人ダム工学会

令和3年度 「研究発表会・特別講演会・講習会」

一般参加のご案内

秋冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

令和3年度ダム工学会「研究発表会・特別講演会・講習会」を下記の要領にて開催いたします。

本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため web 開催といたします。

今回は、研究論文4編の発表と、特別講演会として1名、講習会として2名の講師をお招きして講演及び講習を行って頂く予定にしております。

今回の発表論文、講演、講習は、多岐にわたる分野で構成されています。

多数の方のご参加をお願い申し上げます。

記

日時 s	令和3年11月18日(木)
	10:00~12:00 研究発表会 (詳細はリンク先をご覧ください)
	13:30~14:30 特別講演会 (詳細はリンク先をご覧ください)
	14:35~16:10 講習会 (詳細はリンク先をご覧ください)
開催場所	新型コロナウイルス感染症対策のため Zoom ウェビナーによる web 開催となります。 視聴ご希望の方は下記参加申込フォームよりお申込みください。 研究発表会・特別講演会・講習会すべて同一の申込フォームとなっております。
参加費	無料
申込締切	2021年11月14日(日)
一般参加申込方法	一般参加をご希望の方は、 下記参加申込フォームに必要事項を入力して下さい。 入力確認後、申込受付のお知らせメール(自動返信)をもって、受付完了とさせていただきます。 ※メールアドレスは必ず入力してください。 申込受付メール(自動返信)に ①一般視聴用 Zoom ウェビナーアドレスについて ②資料のダウンロード方法 ③質疑応答方法 ④CPD 申請の方法 を記載します。 なお、参加人数が複数の場合は、お手数ですがその人数分の入力をお願いします。
	参加申込フォーム
	https://ssl.form-mailer.jp/fms/f5975e16641784
CPD 認定	上記申込フォームより正式申込をしていただいた方に限り、CPD 登録証を発行します。
問合せ先	ダム工学会 事務局 TEL:03-5815-4161 MAIL:dam_eng@jdec.or.jp

ダム用PSアンカー設計施工マニュアル講習会のWeb開催のお知らせ

主催 一般財団法人 ダム技術センター

協賛 一般財団法人 日本ダム協会

協賛 一般社団法人 日本アンカー協会

平素、ダム技術センターの諸活動に関しましてご理解ご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

さて、この度、『ダム用PSアンカー設計施工マニュアル』を発刊いたしました。目次等につきましては、次ページの新刊案内に記しておりますが、ロックアンカーの技術指針類としては国内初のものであり、今後のダム堤体や基礎岩盤の補強に大いに役立つものと期待されています。

つきましては、12月14・15日と16・17日の2回に分けてWeb方式による講習会を開催することといたしました。当講習会は、設計、施工、管理の全般に亘って知ることができる良い機会ですので、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

1. 講習会日程

第1回講習会 2021年12月14日・15日の両日の14時00分～17時00分（各3時間）

第2回講習会 2021年12月16日・17日の両日の14時00分～17時00分（各3時間）

第1回、第2回講習会ともに、1日目が設計編、2日目が施工編の計6時間で構成します。お申込みの方は、12月14～17日の4日間の中から、設計編と施工編をお選びいただけます。

2. 受講料及び定員

1名様7,000円（税込み）（『ダム用PSアンカー設計施工マニュアル』代金・送料込み）です。

※『当マニュアルをお持ちの方』は1名様につき3,000円（税込み）です。

定員は第1回、第2回を合わせて計400名です。定員に達し次第、締切らせていただきます。

3. 講習会開催方法

Web方式です。受講の際にはインターネットに接続されたパソコン（スピーカー付き）をご準備願います。事前にメールでWEB講習会用URLをお知らせします。

ダム技術センターホームページ（<http://www.jdec.or.jp/>）の新着情報で、当講習会の開催案内を掲載いたしますので、詳細につきましては随時ご確認ください。

4. お申込み方法

まずは次ページの簡易申込み書の記入項目をメール本文に付して「ps_anchors@jdec.or.jp」までご送信下さい。お申込み後、受講方法、お振込み方法等をメール送信させていただきます。

お支払いは、2021年12月1日（水）までにお済ませ下さい。

入金確認後、テキストの必要な方に『ダム用PSアンカー設計施工マニュアル』を送付します。

5. お問い合わせ先

ダム用PSアンカー設計施工マニュアル講習会事務局

〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7 池之端日殖ビル 2F

一般財団法人 ダム技術センター：事務局担当 北谷

E-mail : ps_anchors@jdec.or.jp

お申込みの方は、太枠部項目をメール本文に付して「ps_anchors@jdec.or.jp」までご送信下さい。受講方法、お振込み方法等につきましては、折り返し返信いたします。

「ダム用PSアンカー設計施工マニュアル講習会」簡易申込み書

ご氏名／ご所属			複数名お申込みの場合は代表者氏名
メールアドレス			必須です。
受講料金／1名 (税込み)	テキスト代を含めて 7,000 円／名	テキスト代を含めず 3,000 円／名	該当する部分を残して下さい。 テキスト：ダム用PSアンカー設計 施工マニュアル
申込み受講者数	名	名	

[講習会予定] 下記の4日間の中から設計編と施工編をお選びいただけます。

- 第1回 12月14日(火曜日) 14:00~17:00・・・設計編(当マニュアルの前半主体)
 12月15日(水曜日) 14:00~17:00・・・施工編(当マニュアルの後半主体)
 第2回 12月16日(木曜日) 14:00~17:00・・・設計編(当マニュアルの前半主体)
 12月17日(金曜日) 14:00~17:00・・・施工編(当マニュアルの後半主体)

各章の講師は執筆者が務めます。講習会における質疑はチャットとメールを活用します。

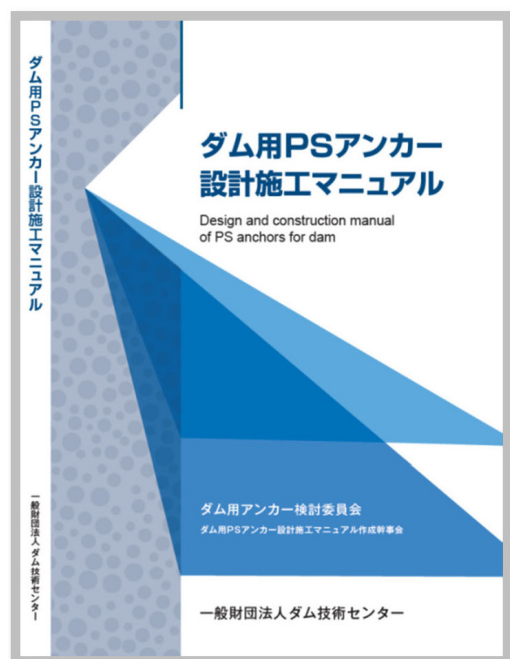
ダム技術センターホームページ(<http://www.jdec.or.jp/>)の新着情報で、当講習会の開催案内を掲載いたしますので、詳細につきましては随時ご確認下さい。

新 刊 案 内

令和3年9月28日発行 価格 3,300 円(税込、送料別)



ダム用PSアンカー設計施工マニュアル



◆目次構成

全 190 ページ

- 第1章 適用
- 第2章 用語
- 第3章 材料
- 第4章 防食
- 第5章 設計
- 第6章 施工
- 第7章 荷重試験
- 第8章 管理
- 参考資料

堤体 PS アンカーと岩盤 PS アンカーについて記述され、特に、機材、防食仕様、アンカー対象物と一体となった設計・照査法、体系的緊張力管理、削孔等の施工法の細部、荷重試験、効果的な計測・点検・管理等について、最新の情報と豊富な設計施工事例でもって詳述されています。

作成・編集：ダム用アンカー検討委員会、ダム用 PS アンカー設計施工マニュアル作成幹事会

お問い合わせ

一般財団法人ダム技術センター企画部 図書販売担当

〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7 池之端日殖ビル 2F

TEL:03-5815-4161、E-mail: books@jdec.or.jp、ホームページ: <http://www.jdec.or.jp/>

○ご注文：会社名、部署名、ご担当者、郵便番号、書籍名、部数を明記の上、E-mail にてお申し込み下さい。

図 書 販 売

1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和3 年4 月号（No. 415）～令和4 年3 月号（No. 426） 1,260円（税別・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
 - ・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
 - ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
 - ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
 - ・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム
 - ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
 - ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）
8. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
 - ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
9. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
 - ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）
10. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
 - ・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）
11. ダム技術Q&Aー総集編ー改訂版 I
 - ・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
12. ダムの地質調査ーボーリング・調査坑・トレンチー
 - ・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
13. RCD工法施工技術資料
 - ・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
14. 岩盤画像の取得と活用
 - ・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）
15. ダム工事積算の解説（令和3年度版）
 - ・令和3年8月発行 A4判 2,900円（税込・送料別）
16. ダム用PSアンカー設計施工マニュアル
 - ・令和3年9月発行 A4判 3,300円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

〔法人名〕 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

〔郵便番号〕 〒110-0008

〔住所〕 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

〔担当者〕 図書販売担当

〔電話〕 03-5815-4161

〔FAX〕 03-5815-4162

〔電子メール〕 books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名（会社名） 私→宛名（申込者名）となります。		公・（宛名（会社名）） 私・（宛名（申込者名））	
申込者 （ご氏名）	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	（〒 - ）		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3 日～10 日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。（到着日は、商品と1 日程度誤差あり）
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp